

みんなの声を
力に変えて

Vol.33
令和8年1月

静岡県議会議員 愛する郷土・清水町の為、静岡の為に

坪内ひでき 県政レポート



拝啓 大寒の候、皆様におかれましてはお健やかに過ごしの事とお慶び申し上げます。
平素は、坪内秀樹の活動に対し格段のご支援とご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。
令和7年12月定例会が、12月1日～12月19日まで開会されました。12月定例会では一般会計補正予算案や知事などの給料削減・期末手当引上げ凍結に関する特例条例案など59議案を可決・同意いたしました。12月9日には一般質問を行い、県東部地域の周辺観光拡大や、清水町における狩野川への新たな橋梁の整備等について質問いたしました。(詳しくは下記をご覧ください)
本年が皆様にとりまして、飛躍の年になりますことを心からお祈り申し上げますとともに、何かご意見やご要望等ございましたらお気軽に仰せください。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

坪内ひでき

特集 静岡県議会令和7年12月定例会にて一般質問を行いました

一般質問に登壇し、「積極財政に対する県のスタンス」「県東部地域の周遊観光の拡大」等、5項目について質問いたしました。議事録抜粋を掲載いたしましたので、ご一読ください。これからも皆さまのご期待に応えることができるよう取り組んでまいります。

1. 国の責任ある積極財政への対応について

■質問：坪内秀樹
県は「財政危機宣言レベル」サマーレビューにプラスして事業の見直しを県庁内に求めている。なぜ財政危機という言葉を用い、県民への情報発信を行ったのか、国が進めていく責任ある積極財政に対する県のスタンスは？
■答弁：鈴木知事
「財政危機宣言と呼べるレベル」という表現で発信した意図につきましては、来年度当初予算編成を控え、本県特有の厳しい財政状況を分かりやすくお知らせする必要がありますと判断。積極財政に対する県のスタンスは、厳しい財政状況であっても、決して縮小均衡に陥ることなく、メリハリを付ける中で、未来への投資や県民生活に必要な不可欠な事業は着実に実施してまいります。

2. 組織文化の改善に向けた真摯な取組の実行について

■質問：坪内秀樹
県は組織文化の改善に取り組み始めたことと承知しているが、新県立図書館整備や台風第15号の自衛隊派遣要請など全く改善は進んでいないと判断せざるを得ないと考える。組織文化の改善の進捗、評価、対応は？
■答弁：総務部長
全ての職員の意識や行動の変化に結び付いているとは言えず、進捗につきましてはまだ道半ばであると認識。継続して意識の改革を促し、全ての職員への浸透に努めてまいります。
さらに、職員の行動変容につながる効果の高い研修等の導入についても検討し、迅速かつ丁寧に実績を積み上げ、組織文化の改善を実現してまいります。

3. 清水町における狩野川への新たな橋梁の整備について

■質問：坪内秀樹
橋梁整備は、地域の将来像を左右する極めて重要な事業であると強く認識している。清水町における狩野川への新たな橋梁の整備について、現在の進捗状況と今後の取組について、県の所見を伺う。
■答弁：交通基盤部長
架橋位置や形式が定まり、また、橋梁に取り付ける道路については、地元の皆様から御意見を伺いながら詳細な位置や構造などが決まったところであります。11月までに4名の地権者と契約を結んでおります。引き続き、早期の全線にわたる用地取得に向けて、対象地権者の方々と交渉を進めてまいります。
清水町や周辺地域の更なる発展と渋滞の緩和や通行の安全確保に向け、引き続き関係市町と連携し、地域の皆様の御理解と御協力を頂きながら、狩野川への新たな橋梁の早期整備を目指してまいります。

4. 県東部地域の周遊観光の拡大について

■質問：坪内秀樹
柿田川公園や県東部地域の自然・景観・歴史・食・温泉など、様々な資源を運動させて、観光誘客と広域周遊を促進していくための県としての取組や地元への支援は？
■答弁：スポーツ・文化観光部長
柿田川公園の魅力を高めるために必要となる展望施設や案内表示等清水町の計画や意向等も踏まえ、県の観光施設整備事業により支援してまいります。
市町やDMO等と連携し、富士山、自然、食、歴史文化等の地域資源を最大限に活用しながら、県東部地域の魅力向上と観光周遊の促進に、積極的に取り組んでまいります。

5. 使用料・手数料の改定について

■質問：坪内秀樹
財政悪化の改善の一端を県民の負担により補うものであり、県はコストを削減する努力をどれほど行ってきたのか。今回の改定にあたり、行政コストとして何を具体的に見直し、引き上げ幅を抑える取組を行ったのか伺う。
■答弁：財務部長
今回の使用料・手数料の改定は、近年の人員費や物件費等の高騰を踏まえ、行政サービスの水準を維持しながら、受益者負担の適正化を図るためのものであります。物価高騰により県民や事業者の皆様が環境が厳しさを増す中で、負担の増加は大変心苦しいと考えますが、丁寧に御説明申し上げ、御理解・御協力をお願いしてまいります。



令和7年12月定例会 12月1日(月)～12月19日(金)

令和7年12月県議会定例会知事提案説明 *主な内容を抜粋

県政の概要

<ul style="list-style-type: none"> (1) 台風15号による被害への対応 ・危機管理に精通した外部有識者による検討会を設置し、県の対応を検証 (2) 新県立中央図書館の整備 ・「見直しの方向性」に沿って、機能や規模、事業手法の検討を進める (3) 遠州灘海浜公園篠原地区の整備 ・利活用構想等を策定し、最適な野球場の規模・構造等を検討する (4) リニア中央新幹線建設を巡る議論 (5) スタートアップ先進県に向けた取組 (6) 高付加価値インバウンド誘客 	<ul style="list-style-type: none"> (7) クルーズ船の受入拡大に向けた取組 ・貨物の一時保管等に使用された上屋を官民が連携し、集客機能付の旅客待合施設とし活用 (8) 環福連携による障害者雇用の促進 (9) 順天堂大学との連携協定の締結 ・順天堂大学と、10月6日に地域医療提供体制(東部地域)の確保に向けた協定を締結 (10) 「森の力再生事業」と「もりづくり県民税」 ・来年度から5年間、県民の皆様への御理解をいただいた上で御負担をお願いする (11) 多文化共生の推進 (12) 世界都市自治体連合世界評議会
---	---

愛する郷土・清水町の為、静岡のために！坪内ひでき県政レポート。県政についてのご相談・陳情は坪内ひでき事務所まで！



令和7年12月17日(水)

静岡県令和8年度当初予算に対する要望を提出。

12月17日、鈴木康友知事に対し、会派自民改革会議として知事に対し正式な申し入れを行いました。

物価高と賃金・所得のギャップ、人材確保難、インフラ老朽化、災害の激甚化、外国人との共生など多岐にわたる課題が深刻さを増していますが、歳出削減一辺倒の「守りの緊縮」ではなく「攻めの投資」が不可欠です。県民の安全・安心の確保と、地域経済・雇用の持続的成長、そして若い世代が将来に希望を持てる静岡県を実現するために必要な施策を提出いたしました。



令和7年12月6日(土)

第26回静岡州市町対抗駅伝競走大会2連覇達成！

12月6日、第26回静岡州市町対抗駅伝競走大会町の部にて見事優勝し、2連覇を達成しました。

大会では、連覇の期待がかかる中、選手一人一人が全力を尽くし、1区から一度もトップを譲ることなく、素晴らしいレースを見せられました。選手の皆様、ご家族様、関係各位の皆様おめでとうございます。勇気と感動を届けてくれた清水町チームの皆さまに心から感謝と敬意を表するとともに、今後のさらなるご活躍を応援しています。

イベント

企画展「サクラ×さくら」

●山・里・海を彩る「和」の魅惑 あなたの「推し」がきっと見つかる。日本を代表する春の風物詩「さくら」。初春から約半年の間、様々な種類の桜が各地で咲き誇る「さくら王国」静岡県は、「駿河湾の宝石」サクラエビの漁が日本で唯一なされる地でもあります。本展では、山・里・海を華やかに彩る「さくら」たちの実像と「今」を探り、その多彩で奥深い魅力に迫ります。気になる「さくら」を見つけたら、彼らに会いに「推し旅」へ出かけませんか？
会場：ふじのくに地球環境史ミュージアム
開催期間：5月24日(日)迄
観覧料：一般300円、小学生以上大学生以下70歳以上無料
*お問合せ：ふじのくに地球環境史ミュージアム



イベント

イベントをまるごと楽しむ しずGo!

●しずGo!とは？静岡のイベントまるごと楽しむ追加料金なしの月額制で、静岡県内のスポーツ・音楽・舞台・温泉などをお得に体験できます。いつものイベントも、初めてのイベントも。静岡の新しい楽しみを見つけよう。
・選べる4つのイベント
毎月選べる4つのイベント。
・ずっと好きなジャンルから、気になるジャンルまで。毎月付与される予約権利を使って、お好きなイベントを予約してください。
*しずGo!は、静岡県と協定を結んだ株式会社Sonoligoが運営しています。



イベント

中村宏展 時代錯誤のその先へ

●浜松市出身で日本の戦後美術を代表する画家、中村宏(1932(昭和7)年～)を包括的に紹介する大規模回顧展。アートにおける表現が目まぐるしく変化し多様化する中で、中村は70年以上にわたり描くことにこだわり制作してきました。本展では、1950年代半ばの「ルポルタージュ絵画」をはじめ、1960～70年代の時代精神を映し出し広く知られたセーラー服姿の女学生や機関車をモチーフとする絵画・イラストレーションなど代表的な作品を幅広くご覧いただけます。
会場：静岡県立美術館
開催期間：3月15日(日)迄
観覧料：前売券一般：1,200円～
*お問合せ：静岡県立美術館



お知らせ

旧ヴァンジ彫刻庭園美術館利活用

1.運営権導入に向けた手続き
・公募開始(募集要項公表・説明会・質疑対応)
・一次審査(2月)・競争的対話(3月)・二次審査(4～6月)
・優先交渉者選定、基本協定締結(7～9月)
・実施契約締結(10～12月)・令和9年度4月以降運営開始
2.施設の利活用
(1)トライアル・サウンディング実施
令和7年5月～10月まで民間事業者にて試行的に使用実施
(2)モデル事業の実施
長泉町、観光交流協会、近隣施設の協力による施設活用モデル事業
(3)ボランティア活動の実施
*お問合せ：文化政策課



お知らせ

公共ライドシェアの展開

●バス・タクシーによる移動手段の維持確保が困難な地域に着いては、多様な輸送資源の活用による共助型交通の導入などを行いながら、地域交通の最適化を図る必要がある。その中でも、交通空白地等の解消には、公共ライドシェアは有効な対策の一つであることから、県内全域に展開することとし、地域の実情に応じた導入に取り組む市町を応援していきます。
・担い手不足の解消に向け事業者等が保有する車両・人材等の活用可能性調査
・賛同自治体と課題・優先事項等の共有
・セミナーやアドバイザーを市町に派遣
・「共助版ライドシェア」の導入促進
*お問合せ：都市局地域交通課



お知らせ

小中学校不登校への対応状況

●文科省実施「令和6年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」(令和7年10月公表)では、不登校児童生徒数は小学校では最多となり、中学校では高止まりの傾向にあります。
●教育委員会の取組
(1)登校児童生徒の多様な学び場の確保
・バーチャルスクールの設置(令和7年運用開始)
・校内教育支援センターの設置促進
・民間施設等に対する運営費助成
・公的教育機関と民間施設等の連携促進
(2)不登校の未然防止
・小1ギャップ解消への取組
*お問合せ：教育委員会義務教育課



活動レポート <2025年11月～2026年1月>

清水町になにか活かせることがないか、日々勉強しています！



●2026.1.16 静岡県議会日米友好議員連盟にて在名古屋米国領事館首席領事のAnna Wang氏を県庁にお招きし意見交換する



●2026.1.14 「QST国立研究開発法人量子化学技術研究開発機構那珂フュージョン科学技術研究所」にて新興技術を最大限活用し世界に先駆けた実証を視察。



●2026.1.14 茨城県那珂市「QST国立研究開発法人量子化学技術研究開発機構那珂フュージョン科学技術研究所」を視察し関係者と意見交換する



●2026.1.11 「令和8年清水町消防出初式」に参加し皆様と意見交換する。昼夜を問わずの活動に心より敬意と感謝申し上げます！



●2026.1.11 「令和8年清水町二十歳の門出を祝う会」に参加し皆様と意見交換する。皆様が地元清水町を心にと刻みそれぞれの道で活躍されることを心より祈念致します！



●2026.1.5 「清水町令和8年賀詞交歓会」に参加し皆様と意見交換する。本年もご指導を仰ぎながら、一つひとつ大切に取り組んでまいります



●2025.11.27 県庁へ清水町要望活動に同行し関係者と意見交換する。(仮)狩野川新橋及び都市計画道路西間門新谷線の整備・(仮)都市計画道路玉川卸田線周辺地区土地地区画整理事業に伴う市街化区域編入への要望



●2025.11.15 「第45回清水町ふれあい広場」に参加し皆様と意見交換する。誰もが豊かに生きることができる福祉社会をつくることは町民全ての切実な願いです、微力ながらお役に立てよう努力いたします

静岡県議会議員 坪内ひでき 事務所

〒411-0906 駿東郡清水町八幡 45-1 Jsquare静岡 4階 R号室
Official site: <https://tsubouchi-hideki.jp/> 坪内ひでき

ご意見やご要望等ございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

TEL.055-957-8835
FAX.055-957-8836

活動報告など日々の情報も配信中！

